

平成 26 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

担当課名	分権政策部 広報統計課		
予算 科目 目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	02	文書広報費

経営理念 3 魅力ある資源を上手につなぎ、市民満足度を高めるはつかいち
 経営目標 1 市民主体の協働により、みんなで幸せを実感できるまちに ～地域経営の推進～
 重点的取組 1 市民と市役所との信頼関係を築く

事業名	広報広聴事業	事業開始年度	平成 4 年度
	広聴・相談事業	根拠法令 条例 個別計画等	廿日市市民相談員設置要綱

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民	<ul style="list-style-type: none"> 気軽に相談できる窓口を設置することにより、市民生活の安心・安定を図る。 市民意見を市政へ反映し、市民協働によるまちづくりを推進する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	広島弁護士会、中国四国管区行政評価局、広島県社会保険労務士会広島支部、広島県土地家屋調査士会廿日市支部、広島県行政書士会	<ul style="list-style-type: none"> 関係団体との調整事務（契約、報酬支払など） 中国四国管区行政評価局主催の相談業務の周知補助（チラシ設置）

3 平成26年度 予算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

活動内容	・相談事業 ・中学生と市長のふれあいトーク 市内11校の中学生からまちづくりへの提言に対して、市長が回答し意見交換を行う。中学生からの提言を市政に反映させる。 ・市政意見箱 市役所、各支所及び各市民センターに設置した市政意見箱に寄せられた市民からの意見・質問・要望等を担当課に照会し回答する。回答は、1か月ごと取りまとめてホームページなどで公開する。 ・事業費関連 【歳出】 [相談事業] ・市民相談員報酬等 1,057 千円 ・弁護士謝礼 1,408 千円 [中学生と市長のふれあいトーク] ・事務費 32 千円							
	コスト情報(円)	項目	平成 24 年度決算	平成 25 年度予算	平成 26 年度予算			
		直接事業費 A	2,498,610	2,498,000	2,497,000			
		財源内訳	国庫支出金					
			県支出金					
			借入金(市債)					
			その他(使用料など)					
		市(市税など)	2,498,610	2,498,000	2,497,000			
		人件費(按分) B	1.35 人 11,842,200	1.35 人 11,815,200	1.35 人 11,489,850			
		総事業費(A+B)	14,340,810	14,313,200	13,986,850			
単 位 換 算		① 人口(4月1日現在)	118,000 人	118,000 人	117,680 人			
	② 市民1人当たり	122	121	119				
目 達 度 標	活動及び成果指標	単位	H24 実績値	H25 目標値	H26 目標値	H27 目標値	備考	
	活動	相談件数(市民相談室等)	件	432	350	350	350	
	成果	意見・要望件数(市政意見箱等)	件	138	240	240	240	
	成果	解決件数(市民相談室等)	件	—	—	—	—	
成果	反映件数(市政意見箱等)	件	—	—	—	—		